

## 2019 年度秋学期研究者交流支援制度実施報告書

招聘責任者：農学部 専任教授 荒谷 博

### 招聘者

氏名：Lalith Jayasinghe, Ph.D.

所属：National Institute of Fundamental Studies, Sri Lanka

期間：2019 年 12 月 11 日～12 月 21 日

### 特別講義

演題：Research and Development of Natural Product Chemistry in Sri Lanka

日時：12 月 18 日（水）16:30～18:00

場所：生田キャンパス第一校舎 6 号館 6-206 教室

聴講者：約 20 名

### 実施報告

Lalith Jayasinghe 博士は、スリランカ国の国立研究所 National Institute of Fundamental Studies の Senior Research Professor であり、天然物有機化学研究のプロジェクトリーダーとしてスリランカ国の天然物有機化学研究をリードしている研究者である。Jayasinghe 博士は招聘責任者が代表を務める本学の特定課題研究ユニット「天然物化学研究ユニット（2015 年 6 月～2020 年 5 月）のメンバーの一人として、共同研究を遂行し、数多くの成果を国際ジャーナルに発表してきた。今回、2019 年度秋学期研究者交流支援制度によって、Jayasinghe 博士を 2019 年 12 月 11 日～12 月 21 日の 10 日間、本学生田キャンパスへ招聘し、教員および学生との研究・文化交流を行った。主として、招聘責任者が主宰する天然物有機化学研究室において、教員や学生間と研究交流を行った。また、12 月 17 日（火）には、同じ天然物有機化学分野の研究に携わっておられる東京工業大学の江口正教授の研究グループとも研究交流を行った。

12 月 18 日（水）に実施した特別講演は、「Research and Development of Natural Product Chemistry in Sri Lanka」のタイトルで実施され、聴講者は約 20 名であった。講義では、最初にスリランカの文化、産業、自然について紹介され、続いて National Institute of Fundamental Studies、実施している研究について説明された。研究の紹介では、共同研究の中で得られた成果などから薬用植物や果物の植物内生菌（エンドファイト）が生産する二次代謝産物の構造や生理活性を中心に、学生にも理解できるように基礎的な内容も交えて話された。この基礎的な内容とは農芸化学科の 3, 4 年次に設置されている天然物有機化学の講義内容であり、すでに学習済みの学生にとっては、英語が不得意であっても、パワーポイントのシートを見ることで十分に理解できたものと思われる。特別講演後には、教員、学生を交えささやかながらミキシングパーティーを行い、更なる交流を深めた。今回の招聘により、共同研究関係は健全であることも確認でき、特定研究課題ユニットの研究期間の延長を検討することにした。

最後に、このような有意義な機会を提供していただいた明治大学国際連携部および研究者交流支援制度に感謝申し上げます。